

27年度下総航空基地追悼式

海自下総教育航空群司令(寺尾俊彦一等海佐)は、昨年10月30日(金)、基地内「雄魂の碑」前において殉職隊員34柱の追悼式を執行了。式は教育航空集団司令官 池 太郎海将、かつて下総基地に所在し、現厚木基地所在の第51航空隊司令及び第3航空隊司令を始めとする部隊指揮官等現役隊員に加え、来賓として殉職隊員搭乗機の僚機の機長であった深野 俊氏、翼の会、千葉県水交会、千葉県隊友会、千葉県海上自衛隊OB会、第3術科学校校友会、ネプチューン会など多数が参加し、儀仗隊の押礼に始まり、黙禱、執行者



追悼の辞、献花と続き、防衛大臣ほかの追悼電報の披露後、儀仗隊の弔銃が御霊のご冥福を願う青空に響き渡り、終了した。

海自下総基地『殉職隊員追悼式場』清掃ご奉仕

追悼式に先立ち、10月24日(土)9時から約2時間下総水交会(会長山本博秋氏)と合同、総勢30名で実施。県隊友会からは満園沼南副支隊長以下15名が参加。当日は、下総教育航空群甲板上官も参加され、好天に恵まれ、



参加者皆気持ち良い汗を流し無事作業を終了した。
【沼南支部 河西伸人】

空自峯岡山分屯基地 創設60周年を祝う

空自第44警戒隊長兼峯岡山分屯基地司令本橋彰仁郎二等空佐は、分屯基地創設60周年を祝い、祝賀会、記念コンサート、基地開放の一連の行事を開催した。

昨年10月17日(土)鴨川市内のホテルで実施された記念祝賀会では、基地周辺の6つの協力団体、近隣部隊代表、地元有志等130人が出席するなか、本橋司令により挨拶が行われ、60周年を節目とする歴史と意義、地域への感謝と今後の決意などが語られた。

記念コンサートは10月24日(土)、鴨川市民会館にて空自中部航空音楽隊を迎えて行われた。約2時間の演奏の中で、地元少女合唱団、高校音楽部とのコラボもあり、会場を埋めた700人を超える聴衆は、その調べに魅了された。基地開放は、翌25日(日)秋晴れの好天に恵まれ、千葉県最高峰の愛宕山三角点にあるレジャーサイトに1200人を超える来場者で賑わった。催し物として空自入間基地所属のT-4の飛行展示、海自・陸自の各種ヘリコプターの飛行・地上展示、装備品展示、小銃空砲射撃、中音楽隊演奏会等が行われ来場者を楽しませた。



峯岡山分屯基地創設60周年記念祝賀会
平成27年10月17日(土) 鴨川グランドホテル



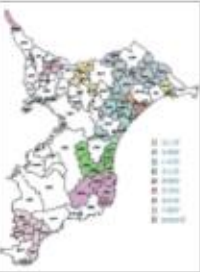
基地開放(10月25日)

各行事には、県隊友会から三好文雄安房支部長が会長代理として出席、祝賀会の祝辞で、基地と千葉県隊友会とのより一層の交流と基地の発展を祈念する旨述べた。
【県隊友会安房支部長 三好文雄】

隊友千葉だより

平成28年1月号(No.41) 千葉県隊友会事務局

【事務所 開所時間】
月・火・水・金曜日
1000~1500 山田・内田理事役



〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森1丁目26-9コンラッドビル4階 電話 043-306-2095 FAX 043-306-2096
電子メール chibataiyuu@angel.ocn.ne.jp ホームページ http://www.chibataiyuu.com/

河野美登会長 新年ご挨拶



新年 明けましておめでとうございます。
千葉県隊友会会員の皆様、在業自衛隊員の皆様、防衛関係諸協力団体の皆様にとりまして、本年が健康で輝かしい年になりますことをお祈り申し上げます。

さて昨年は、9月に安全保障関連法案が参院本会議で可決、成立いたしました。これにより、これまで懸案だった平時から有事に至る各種事態(平時・クレーン・重要影響事態・存立危機事態・武力攻撃事態)に、自衛隊はシームレスに対応することが可能となりました。また、「存在はするが行使はできない」という日本独自の奇妙な解釈がまかり通っていた集団的自衛権の行使ができるようになりました。本来は、自衛隊を憲法上国防軍と明確に位置付けた上で、これらの法制を整備するべきであろうと考えますが、これまで懸案事項が政治的に放置されてきたことを考えますと一歩前進だと考えます。今後は是非とも次のステップで、憲法改正に踏み込んでほしいものだと思います。

千葉県隊友会は、関東・東北豪雨により鬼怒川の堤防が決壊し甚大な被害を受けた茨城県常総市に対し9月19日から約1週間にわたり延べ73名の防災ボランティアを派遣しました。これは平成23年東日本大震災時の防災ボランティア派遣に続くもので、計画段階から現地ボランティアセンターとの調整、準備、支援作業、撤収作業と隊友会員ならではの丁寧のよさを発揮し、地元から感謝されました。参加者各位に敬意を表しますとともに、会員各位に今後の協力をお願いいたします。詳細は「平成27年9月関東・東北豪雨常総市災害ボランティア活動の記録」(大根防災担当理事作成)として県ホームページに掲載し、また隊友会本部からもリンクされています。

今後、防災ボランティアを派遣する必要が生じたときに大いに指針になるものと確信しています。

隊友会が抱えている現下の最大の課題は、会勢の減少です。平成16年度末に13万4千人だった正会員数は平成25年度末に7万8千人と10年間で40%減っています。千葉県においても4千5百人から3千5百人に千人も減っています。即日入会者は21年度以降若干増加に転じてはいませんが、退会者は増加する一方です。29年度から新たな終身会員制度は廃止され、全員が年度会員となることが決まっていますが、このような状態では退職時に即日入会しても2~3年で退会してしまうのではないかとこの危惧があります。昨年10月に長野県松本市で行われた平成27年度関東甲信越ブロック研修会においても、「隊友会の会勢拡大」を主要テーマに掲げ、発表・討議が行われました。

退会防止策の第一は、何と言っても隊友会の魅力化だと私は考えています。鍵となるのは支部活動の活性化です。同じ地域に所属する会員が一度も顔を合わせないようでは、そもそもチームとしてながしかの活動をすることは期待できません。本部としても自衛隊の部隊研修、防衛講演会、護国神社・慰霊碑清掃支援、親睦ゴルフコンペ等会員交流の場を企画しますので、これらに積極的に参加するとともに、各支部におかれても会員同士が顔を合わせる場(総会・懇親会等)を企画していただきたいと思っております。最後に、皆様の今年一年のご健勝、ご活躍を祈念いたしますとともに、千葉県隊友会に対する変わらぬご支援、ご協力をお願いして、新年のご挨拶といたします。

事務局からの連絡事項

- ◆平成27年度後期支部長等会議
3月3日(木) 13時~16時 千葉市文化センター
- ◆平成27年度自衛隊入隊予定者激励会
3月6日(日) 13時頃(細部未定)から四街道文化センターで開催。今春、自衛隊に入隊する若者を激励します。第1部激励会、第2部音楽会。多くの方の参加をお待ちします。
- ◆平成28年度 県隊友会連合会・表彰式・懇親会
4月23日(土) 13時半から総会・表彰式その後懇親会。三井ガーデンホテル千葉(千葉市中央区)で開催予定
- ◆平成28年度年会費納入のお願い
年会員の皆様は、28年度分会費として3千円を3月31日までにお願いたします。
- ◆運営協力費(寄付)のお願い
財政基盤改善のため、入会10年経過、75歳未満(今年は昭和16年4月2日以降生まれ)の終身会員の皆様に会運営 協力費(寄付) 3千円をお願いしています。
- ◆平成28年度県隊友会ゴルフコンペ開催のお知らせ
◎時期 5月12日(木)
◎場所 ムーンレイクGC(市原コース)
◎今回は第10回記念大会として80名の参加を期待。会員に限らず、家族・友人も誘って参加をお願いします。細部は、次号で案内します。

空挺団降下訓練始め

第1空挺団(児玉恭幸陸将補)は1月10日(日)快晴の中、中谷防衛大臣・同副大臣・政務官など内外から多数の来賓を迎えて「降下訓練始め行事」を開催した。団の隊員は、降下に引続き離島奪回を想定に海自・師団・1ヘリ団・東方航空隊等の部隊と協同して戦闘訓練を展開した。今年も観覧席は多くの市民で超満員となった。県から会長他多数の会員が参加した。



憲法改正武道館一万人大会に参加

昨年11月10日(火) 14時から日本武道館にて開催。国歌斉唱の後、まず、「美しい日本の憲法をつくる会」共同代表の櫻井よしこ氏が主催者を代表して挨拶、インド政策研究センター教授チェラニ氏、ベトナム外務省元顧問局長元オランダ大使タン氏からの応援演説、安倍晋三自民党総裁(国会審議中のためビデオメッセージ)、中山恭子次世代の党党首が各党を代表して改正へ思いを語った後、参加国会議員の紹介があった。

松尾新吾九電相談役及びタレントで米カルフォルニア州弁護士のアメリ・ギルバート氏が憲法改正への提言を行った。松尾氏は憲法「改正」でなく「真憲法」「制定」を望むとし、逐条改正ではなく、真の憲法を新たに作成、全文を一括審議にかけてほしいと訴えた。ケント・ギルバート氏は「現行憲法を作ったアメリカ出身のケントです」と聴衆を沸かせた後、現憲法には「元首」の規定がない。天皇陛下が元首であるべきなのに、日本占領中のアメリカ(マッカーサー)は、象徴天皇でこまかに作ったもので、戦争放棄の理想を謳ったものではない。世界に誇る「9条」を記憶遺産に申請しようなどという妄想は捨ててほしい。いつまでもアメリカが日本を守ってくれると思うアメリカ依存症候群を早く治療すべきと訴えた。熊本大学教授 高原剛子(あきこ)氏及び神奈川県議会議員 松田良昭氏が1千万人賛同者拡大に向け意見表明した。高原氏は、「女性の力で憲法改正を」と訴え、女性より男性が多い県は埼玉、神奈川のみ、他は女性の方が多い。国民投票で過半数の賛成を得るには女性の理解が絶対必要。各地で小集

会を開き、賛同者を増やすと表明した。集会で「小さな島のつぐら外国にあげてもいいんじゃない」、「憲法改正すれば戦争になるんじゃない」との意見を聞くと、がっかりして力が抜けることもあるが、「今日、話を聞いて、初めて日本人になった」と言われた時は感動し、力を得たと述べた。最後に作家の百田樹氏が面白い啓発映画を作成中で近々完成するのは是非見てほしいと訴え、日本青年会議所副会頭が大衆演説を朗読、主催者が決議文を自民党、民主党、大阪維新の会及び次世代の党の代表に手交、参加者全員「ガンバローコール」で幕を閉じた。【事務局】

「日本国憲法」誕生の秘密をご存知ですか？

日本の憲法は、実は日本が作ったものではありません。日本が戦争に負けた後、日本を占領したアメリカが作成し、日本に押しつけたものです。昭和21年2月13日、連合国軍最高司令官マッカーサーは、連合国軍最高司令官総司令部に指示して作成し、日本側に突きつけました。その時、アメリカ側は、これを受け入れなければ天皇の身体の保証はできないと日本に伝えました。



当時の起草担当者の発言

押しつけた当事者たちは、とくに日本は憲法を改正しているものと思っていました。

〈ケーディス大佐〉9条及びGHQ憲法草案と見とめ
「たいへん挑戦的であり、とても困難な作業になると思いましたが、というの、9日間で仕上げなければならず、そのとき、私たちの手もとには役に立ちそうな資料が非常にとぼしかったからです。日本国憲法が一度も改正されていないことは、昨年(1983年)、はじめて知りました。」

〈ハウゲ中佐〉国会の草担当
「自分には、荷が重すぎて、その任に堪えることができるか不安でした。私は、日本国憲法は暫定的な性格のものと思っていました。」

戦後、主要国で憲法改正をしていない国はありません!

アメリカ 1787年制定	戦後の改正回数 6回	インド 1949年制定	戦後の改正回数 99回
イタリア 1947年制定	戦後の改正回数 20回	フランス 1958年制定	戦後の改正回数 24回
ドイツ 1949年制定	戦後の改正回数 59回	日本 1946年制定	戦後の改正回数 0回

美しい日本の憲法をつくる国民の会



上：日本武道館に11,300人が集まった。
左：憲法改正チラシ(主催者作成)の一部

27年度特別会員等講演会

昨年12月4日(金) 16時からグラントビル市ヶ谷で隊友会本部が主催。元航空支援団司令官、東洋学園大学非常勤講師 織田邦男(おきたくに)氏(本県我孫子支部会員)を講師に迎え、「中国の台頭と日本の課題」という演題で、防空識別圏の設定、南シナ海での人口島設置など最近の中国の動向、中国とはいかなる国か、中国の目指すところ、サラミ・スライス戦略、POW、予想される対中偶発的紛争事態、中国に如何に対峙するべき、日本の防衛法制の特殊性、今後の課題について自身のパイロットの経験などを踏まえた、1時間の短時間ながら内容の濃い講話を聞いた。

本県特別会員である松田孝孝議院議員、宇都隆史参議院議員秘書瀧口明美氏に参加して頂いた。懇親会時、宇都議員、森田健作千葉県知事、宮本泰介習志野市長の祝電が紹介された。正会員として富田稔隊友会顧問等が参加した。

織田邦男講師

平成27年11・12月入会者

- 祝入会【敬称略・順不同】
入会深謝・隊友会の発展にご協力を
- 【八街】 小山 秀之(陸)
 - 【香取】 本村 太志(海)
 - 【流山】 地主園 優治(海)
 - 【館山】 矢部 和宏(海)
 - 【船橋】 濱野 誠(空)
 - 大瀬戸 功(海)
 - 切石 薫(空)
 - 長森 秀夫(陸)
 - 小原 浩信(陸)
 - 木内 繁行(陸)
 - 【千葉中央】 高山 淳一(空)
 - 【市川】 和田 慎二(陸)
 - 【木更津】 笹本 浩二(空)
 - 林 淳一(空)

海自館山航空基地研修

県隊友会は、昨年11月11日(水) 10時半から15時半まで平成27年度県隊友会部隊研修行事として海自館山航空基地(基地司令 第21航空群司令 鎌形義憲海将補)を研修した。研修は天候に恵まれ、各支部から70名(会員59名、一般11名)が参加、当初、川村巖館山支部長から「戦争とともに歩んだ館山海軍航空隊 象徴的な出来事で繰る航空隊・基地の15年史」と題した講話を聴き、基地に対する認識を新たに。川村支部長は、館山海軍航空隊史や装備部門をライフワークとして研究、地元館山の市民講座などで講話を行い、好評を得ている。

その後、基地の概況説明、隊内喫食に続き、3個グループに分かれ、それぞれSH-60J操縦訓練装置・ソーナー訓練装置での操縦・操作体験、航空機(SH-60J・UH-60J)及び地上救難車両の説明、管制塔見学、資料館研修を行った。



館山航空基地追悼式
第21航空群司令鎌形義憲海将補は、昨年11月5日(木) 11時15分から平成27年度館山航空基地追悼式を執行した。県から河野会長、館山支部からは川村支部長をはじめ、松浦・高橋・網代・黒川の計5名の会員が参加した。式は部隊指揮官等隊員約200名に加え、田中館山市副市長、榎本館山市議会議長、藤田水交会会長、日向下総水交會会長代理、歴代群司令6名、庄司海友會会長、海老原館空會会長、石川ポリウム會会長、自衛隊父兄會館山支部長、市議會議員9名、ポリウム会10名、基地モニター等合計64名の来賓の参列を得て、厳粛かつ盛大に行われた。その後、新庁舎4階の会議室で追悼会食・懇談会が実施された。

館山航空基地には、昭和28年に初の海自航空部隊が開隊されて以来、昭和40年1名、昭和42年5名、昭和45年1名、昭和46年3名、平成7年1名計11名の殉職者が祀られている。

第58回全自衛隊ラグビー大会



昨年12月12日(土)から18日(金)まで松戸・習志野各駐屯地及び秩父宮ラグビー場で開催。今回も決勝は、習志野駐屯地と船岡駐屯地の対戦となった。習志野駐屯地(第1空挺団)は頑張ったが、残念ながら10対21で敗れた。

鎌形群司令の歓迎挨拶時、YS11から半世紀MRJ初飛行と空自女性戦闘機パイロット養成ニュースが飛び込み会場は盛り上がった。最後になりましたが、基地を挙げて研修支援に当たられた隊員各位特に基地広報班長以下班員、研修用バスを支援して頂いた陸自高射学校長に、また、支援に当たられた館山支部会員に感謝します。【事務局】



海上航空再興之地記念碑
海自館山航空基地追悼式